

万引き・窃盗症

↓
クレプトマニア



クレプトマニアとは

クレプトマニアは「窃盗症」や「病的窃盗」とも呼ばれる精神疾患のひとつです。通常の窃盗行為は「○○が欲しいけどお金がないから盗んで手に入れよう」というように、行為者が利益獲得を目的として盗みを行うものです。

これに対して、クレプトマニアは、十分な資産を有しているのに数百円の物の窃盗を繰り返したり、窃盗する物自体には大して関心を持たないことも多くあります。窃盗後は、盗んだ物を放置したり、一度も使わずに捨ててしまうこともしばしばあります。

- ・ 買い物する為のお金は持っている
- ・ 商品が欲しい訳でもない
- ・ 盗むことが目的になる
- ・ 自分では止められない



2017年万引きの認知件数 10万8009件

クレプトマニアは普通の万引きとは異なり、“**利得を意図しない**”、“**強迫性と衝動性に支配された**”盗みを繰り返す、いわゆる「**盗みの為の盗み**」を繰り返す疾患であり、クレプトマニアの病的行動の本質は“**患者本人にもわからない、突然の窃盗衝動**によって盗みが繰り返されること”にあります。

盗むことをやめられない、やめたいと思っているのに、盗むつもりはなかったのに万引きしてしまっていた…

ひとりで抱え込まず、まずは高知うるこの会へご相談ください。 ☎ 0120-565-275

ウロコニツナゴ



病気であれば **回復**します

専門精神科医をご紹介します。
クレプトマニアに理解のある
弁護士をご紹介します。

自助グループ・KA こうちミーティング

毎週 水曜日 13:00~14:30
土曜日 10:00~11:30
会場はお問い合わせください

☎ 0120-565-275
ウロコニツナゴ

Kleptomania Anonymous KAこうち
クレプトマニア アノニマス

高知うるこの会 受付:月曜日~金曜日 10時~15時

高知市本町4丁目1-37 高知県社会福祉センター3階4号室
TEL 088-822-2539 FAX 088-855-4639

☎ 0120-565-275
ウロコニツナゴ

万引き

それは **病気** です

窃盗症

クレプトマニア

アッ! また盗ってしまった!

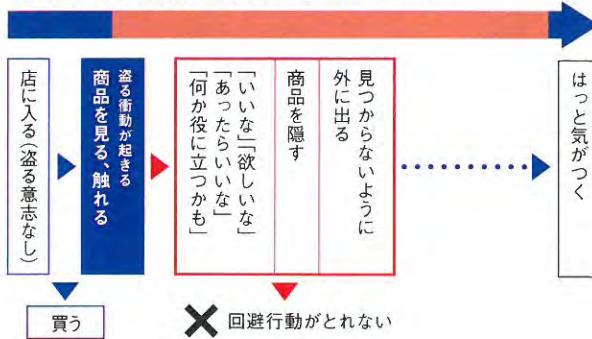
高知うるこの会

☎ 0120-565-275
ウロコニツナゴ

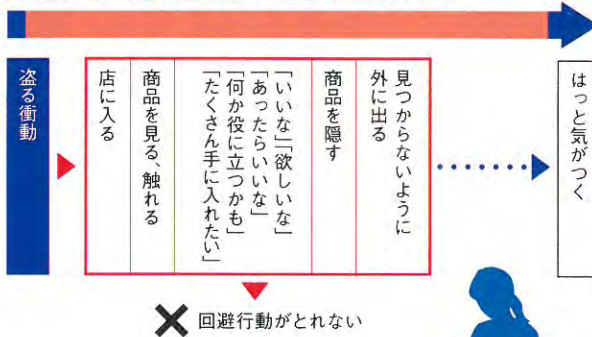
クレプトマニアの盗み方

クレプトマニアの盗み方には、A. 店に入る前には盗みたいという衝動が起きておらず、むしろ「買って帰ろう」という意図をもって店に入るが、店内で衝動が起きて万引きしてしまうタイプと、B. 店に入る前から衝動が起きていて万引きしてしまうタイプがあります。

A. 店に入る前は盗る意図がないタイプ



B. 店に入る前に衝動が起きているタイプ



特に女性に多い病気

窃盗症は摂食障害との関連性が指摘されており、1996年の研究では摂食障害の患者の12~24%が万引きを繰り返してしまうという結果が出ている。

年間の万引き被害額は4615億円(1日に12億6千円が万引きの被害)

2010年全国万引犯罪防止機構の実態調査などから推計された年間の国内総被害額は4615億円。このうち、クレプトマニアによる万引きはごく一部ではあるが、被害店舗や社会にとって大きな経済損失になることには変わりはなく、**治療や教育が重要**になってくる。

回復に向けて 人生をリセットしよう!

前頭葉の機能UP

カウンセリングと
ミーティングと
勉強会で脳の回復

大脳辺縁系の 暴走を止める

できない
環境作り



- ・正直さ
 - ・心を開く
 - ・我慢しない
 - ・理解する
- ※対等性の確保

- ・一人で店に入らない
- ・買うものをメモしてから店に行く
- ・店の中ではぶらぶらしない
- ・メモを見て買ってすぐに出てくる
- ・買いためしない
- ・無料のものも手を出さない

クレプトマニアの治療

1. 通院とケア

通院とミーティングや認知行動療法に参加しながら再発のパターンを学び、「盗む必要がない生き方」を学んでいきます。同じ問題を持った仲間への自己開示により、自分のことを周囲に理解してもらいながら、よりよい人間関係を再構築していきます。

2. 再発防止(リラプスプリベンション)

病的窃盗行動に至るきっかけ(状態を悪化させる引き金)を本人に検討させ、その結果を踏まえて対象行為を回避するための対処方法を学習するという内容です。例えばコンビニでの万引きを繰り返す方の場合、店員の少ない時間帯や場所に行くことが再発につながる引き金になっていることに気付かせる為、あえて店員が多い店に入ることや、そもそも引き金になりやすい店を回避するという自分に合った具体的なリスク回避方法を計画し実行していきます。



☑ クレプトマニアのチェックリスト

- 万引きや人の物やお金を盗るのが犯罪だとわかっているのに盗んでしまう。
- 必要のない物なのに盗ってしまう。
- 他人に見られていることがわかっているのに、盗ってしまう。
- 盗むことが割に合わないことがわかっているのに、やってしまう。
- 何度も見つかって注意をされたり、職場で問題になったり、自分の立場が危機状態にある。
- 盗む行為に衝動的に抵抗できない、または気がつくくと盗んでいる。
- 物を盗む前にはそのことしか考えられない。
- 物を盗むときには快感、満足感、解放感がある。
- 自分の意思ではこの行為をやめられない。
- 窃盗で逮捕され、何度も刑務所に入出入りしている。

あてはまる項目があればご相談ください。

☎ 0120-565-275

3. 自助グループ(K・A)

自助グループとは、「共通の問題を抱えている者同士が支えあい、問題解決を図ろうとするグループ」のことです。クレプトマニアの場合は、**K・A(kleptomaniacs Anonymous: クレプトマニアクス・アノニマス ~無名の窃盗症者たちの集い)**があります。回復途上にある家族や本人は、自分が回復した姿をイメージ出来ずにいますが、自助グループには5年、10年と問題行動がとまっている「回復のモデル」が多数存在します。その方々に接することで本人も家族もいつの日か必ず回復できるのだと信じる事が出来ます。自助グループに参加することにより、習慣化した盗癖行為を誰にも相談出来ずに人とのつながりを断ってきた方や、孤独感を感じながらも問題行動を続けてきた方というような同じ問題を持った仲間との出会いにより新しい人間関係や習慣を作り出してくれるという効果が期待できます。